

## 生活困窮者支援等の地域活動のために、岡山県社協へ寄付

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子どもやその家族を巡る生活課題が長期化し、貧困や格差の問題は、子どもへの連鎖も含めてより深刻となっています。岡山県生活協同組合連合会（以下、県生協連）では、助け合いの組織として、コロナ禍で困っている方や支援を必要としている方への支援に充てたいと、西日本豪雨の支援活動のほか、地域の見守りや生活困窮者支援事業、地域包括ケアシステムの協議体参加など、さまざまな場面で関わりがある、社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会（以下、県社協）へ寄付させていただくこととしました。

2月2日（水）オルガ（岡山市）にて、地域福祉活動の支援金として、県社協へ100万円を贈呈しました。贈呈式では、県生協連 平田昌三会長理事から県社協 足羽憲治会長へ目録が手渡され、「困っている人がますます困っている状況です。これから社会を支える人たちの役に立てていただきたい。生協と社協が、これからも同じ気持ちをもって協力し合い、地域の中で役立っていきたいと思います」とあいさつしました。

県社協の足羽会長より、「新型コロナウイルスにより失業や孤独・孤立した方、制度のはざまにある生活に困窮した世帯、子育て世帯の支援活動に活かし、市町村社協や福祉関係者と連携して、地域福祉活動を推進していきたい。同じ目標の達成に向けて、今まで以上の協力関係を築いていきたいです。」とごあいさついただきました。



県生協連の平田会長理事(左)から  
県社協の足羽会長(右)へ目録贈呈

これからも、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、地域のみなさまと連携しながら取り組んでまいります。



県社協から感謝状をいただきました。

(左から)岡山県生協連 和田副会長理事、福井副会長理事、平田会長理事。岡山県社協 足羽会長、小川常務、岡次長